SPEEDIA N6000

セットアップガイド

プリンタの設置方法、プリンタドライバのインストール方法等、印刷できる状態にするまでの方法が記載されています。

T-861P-1
MA0505-A　2005年5月31日　第1版発行

安全上のご注意

製品を設置・ご使用になる前に必ずお読みください。

　このたびは、SPEEDIA N6000をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

　この「取扱説明書」は、SPEEDIA N6000を安全に正しくご使用いただくためにプリンタの正しい使いかた・点検・不具合が起きたときの処置のしかたなどについて説明したものです。プリンタをご使用の前に必ずお読みください。ご使用中もお手元に置いてご利用いただけるよう、印刷してご使用ください。サーバーをご使用の場合は、本CD-ROMのデータを共有フォルダにコピーして、プリンタをご使用になる方全員が参照できるようにしておくことをおすすめします。

本書の適用機種：SPEEDIA N6000

注意表示について

本製品は内部に高温・高電圧部品を使用しています。お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、本書では、製品の取り扱いを誤ったときに生じる危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに、次のような注意表示をしています。

⚠ **警告**　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う事があります。

⚠ **注意**　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うまたは、財産に損害を与える事があります。

絵表示について

本書にはさらに次のような絵表示をしています。

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。左の例は、高電圧部分につき注意が必要なことを意味します。

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。左の例は、分解禁止を意味します。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。左の例は電源プラグをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

警 告

<電源に関する警告>

AC100V、50/60Hz、15A以上の専用コンセント以外には接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

電源プラグやコンセント及び、プリンタ側の差し込み口(インレット)に付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、発熱や火災の原因になる事があります。

アース線を第３種接地工事をしたアース端子に接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。アース接続ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管(引火や爆発の恐れがあります。)
- 電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れて危険です。)
- 水道管(配管の途中がプラスチック等になっている事が多いため、アースの役割を果たしません。)

タコ足配線や電源コードの継ぎ足し(容量不足の延長コード)は使用しないでください。
また、パソコン等の補助コンセントには接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

警 告

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重たいものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の恐れがあります。
電源コードに傷や亀裂が付いたときは、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡し、新しい電源コードに交換してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

プリンタの電源スイッチをONにしたままプラグを抜き差ししないでください。プラグが変質し、火災の原因になる事があります。

<製品の取り扱いに関する警告>

製品の上に水の入った容器(コップ・花瓶・植木鉢など)や金属物(クリップ・ホチキスの針等)を置かないでください。こぼれたり、製品の中に入った場合、火災・感電の恐れがあります。万一製品の中に異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠ 警 告

万一製品から煙が出ている、変な臭いや異音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。お客様による修理や注油は危険ですので絶対にしないでください。

製品を分解・改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。製品の調整・点検の際は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠ 注 意

＜電源に関する注意＞

アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから取り外してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になる事があります。

⚠ 注 意

電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。発熱や火災の原因になることがあります。

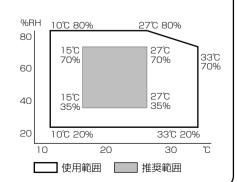
本製品を移動するときや、お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や、電源コードが傷ついて火災の原因になる事があります。

連休などで、本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

パソコンと同じコンセントを使用すると、パソコンの画面がちらついたり、誤動作によりパソコンのデータが消える事があります。プリンタの電源コードをパソコンと別の専用コンセントに差し替えてください。

＜設置場所に関する注意＞

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になる事があります。
プリンタ本体は床から35cm以上離して設置してください。

安全のため温度や湿度が右図で示す「使用範囲」の場所でご使用ください。また、プリンタの最高の性能を発揮するためには「推奨範囲」でのご使用をおすすめします。

⚠ 注 意

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物（強燃性スプレー等）やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には設置しないでください。火災の原因になる事があります。

狭い部屋で長時間使用するときは、換気にご注意ください。プリンタの排気が直接人に当たらないように設置してください。気分が悪くなることがあります。また、カーテンや衣類等に長期間排気が当たらないようにしてください。汚れ（シミ）が付くことがあります。

製品の通風口をふさがないでください。通風口をふさいだまま使用すると、製品内部の温度が上昇して、火災の原因になる恐れがあります。

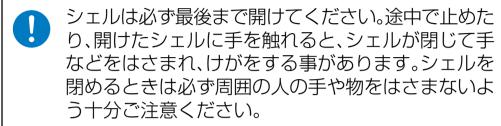
キャスターが付いた台の上に設置するときは、必ずキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になる事があります。

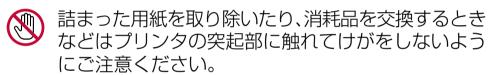
大切な家具などの上に設置しないでください。長時間同じ場所に設置しておくと、製品のゴム足が設置した場所に付着して汚す事があります。

テレビやラジオの近くに設置しないでください。受信障害の原因になる事があります。

⚠ 注 意

<製品の取り扱いに関する注意>

シェルは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする事があります。シェルを閉めるときは必ず周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

用紙排出口付近の定着器は高温になりますので手を触れないでください。やけどの原因になります。

詰まった用紙を取り除いたり、消耗品を交換するときなどはプリンタの突起部に触れてけがをしないようにご注意ください。

詰まった用紙を取り除くときは、内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったまま使用すると火災の原因になる事があります。
なお、用紙が定着器の内部に残って取り除けないときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、お買い求めの販売店にご連絡ください。

製品内部の電極や金属部品に手を触れないでください。感電の恐れがあります。製品のお手入れは、必ず電源スイッチを切ってから行なってください。

布のカバーなどを掛ける場合は、電源を切った後、製品の内部が十分冷えきってから掛けてください。製品の内部が熱いうちに掛けると、火災の原因になる事があります。

⚠ 注 意

トナーやドラムに毒性はありませんが、トナーが手や皮膚についたときはすぐに洗い流してください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流し、眼科医の診療を受けてください。

消耗品の交換の際は、トナーで周囲を汚さないように紙などを敷いて行なってください。万一トナーが衣服に付いたときは、ぬらさずに、掃除機で吸い取ってください。

<持ち運び・廃棄に関する注意>

製品を持ち運ぶ際は必ず４人以上で運んでください。図のように製品の取っ手をしっかりと持って、静かに持ち上げます。腰を傷めたり、製品を落としてけがをしないように十分ご注意ください。製品重量は、消耗品・オプション無しでも約72kgあります。

拡張ペーパフィーダ（オプション）をご使用のときは、本体から取り外して別々に運んでください。

注 意

使用済みの消耗品は焼却しないでください。一部可燃性の材料を使用しているため、火災・やけど・ガスの発生などで思わぬ事故の原因になります。カシオは地球環境保護のために、使用済みのドラムセットとトナーセットを無償で回収しています。詳しくは別売のドラムセットまたはトナーセットに同梱されている案内書をご覧ください。やむを得ず廃棄する場合は、一般の不燃物（廃プラスチック・金属）扱いで廃棄してください。なお、地方自治体の条例により廃棄・分別の方法が指定されている場合はそれに従って廃棄してください。

特　長

カラー印刷が1分間に33枚、モノクロ印刷が1分間に38枚できて
速い

高解像度と新スクリーンで、印刷が
きれい

自動レジストレーション調整と自動濃度調節で
いつでも写真高画質

64bit高速RISC CPUとデータ高圧縮伸張機能で
画像処理が速い

トナーセーブ機能とスリープモード時25W以下の低消費電力で
経済的

紙パス部とプロセス部が上下に開く
シェル構造で操作が簡単

・コピーガード印刷
・スタンプ／フォームオーバーレイ印刷
・合成／分割印刷など
多彩な印刷機能

マルチペーパフィーダから長いサイズの用紙に印刷ができる
長尺紙対応

最大210g／㎡の厚紙に印刷ができる
厚紙対応

オプションの拡張ペーパフィーダと大容量給紙装置を取り付けて
最大5850枚大量印刷
（MPF給紙100枚を含む）

目　次

本書中のマークと表記について

マークについて

本書では、以下のマークによって、ご注意いただきたい重要事項や、取り扱い上の補足説明を記載しています。
マークの付いている記述は、必ずお読みください。

この記載に従わないで誤った取り扱いをすると、プリンタが故障する事が想定される内容を記載しています。

取り扱い上の補足説明や、ご確認いただきたいことを記載しています。

関連した内容の参照先を示しています。

この色になっている項目をクリックすると、該当するページを参照できます。（元の画面に戻りたいときはAcrobat Readerの「前の画面」ボタンを押します。）

表記について

本書では、パソコンのオペレーティングシステムを以下のように省略して記載する事があります。

＜正式名称＞

Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server™ 2003 日本語版

＜省略記載＞

Windows 98
Windows 2000
Windows Me
Windows XP
Windows Server 2003
総称する場合は「Windows」と記載する場合があります。
併記する場合は「Windows 98/2000/Me/XP/Server2003」のように「Windows」を省略する場合があります。

Windowsの画面について

本書に掲載のWindowsのパソコン画面は、特に指定がない限り、Windows XPの画面を例に使用しています。

1. プリンタ各部の名称と働き

＜正面＞

操作パネル

プリンタの状態を表示したり、プリンタの機能を設定するときに使用します。

リファレンスマニュアル

メイン排紙部（フェイスダウン）

印刷された用紙が印刷面を下にして（フェイスダウン）出てきます。

ハードウェアマニュアル（38ページ）

マルチペーパフィーダ

印刷する面を上向きにセットします。特殊紙はここから給紙してください。

ハードウェアマニュアル（27ページ）

フロントカバー

ドラムセット、トナーセット、定着クリーナの交換や、紙詰まりのときに開けます。

ハードウェアマニュアル（9ページ、12ページ、16ページ、40ページ）

ライトカバー（本体給紙ガイド）

紙詰まりのときに開けます。

ペーパカセット（A3 ユニバーサル）

A3～A5（B系列を含む）定型サイズの普通紙を 550 枚までセットできます。

ハードウェアマニュアル（21ページ）

拡張ペーパフィーダ（オプション）

ペーパカセットを装着する給紙ユニットです。本体に 4 台まで装着できます。

ハードウェアマニュアル（52ページ）

＜背面＞

外部装置接続コネクタ（オプション）

オプションの給紙装置や排紙装置を接続するコネクタです。
詳しくは各オプション装置の説明書をご覧ください。

☞ ハードウェアマニュアル（62ページ）

アッパー排紙トレイ（フェイスアップ）

印刷された用紙が印刷面を上にして（フェイスアップ）出てきます。

☞ ハードウェアマニュアル（38ページ）

大容量給紙装置接続コネクタ

フィニッシャ装置接続コネクタ

両面カバー

両面印刷ユニットを取り付けるときに開けます。

☞ ハードウェアマニュアル（56ページ）

インターフェイスボックス

オプションの増設メモリモジュールや、ハードディスクユニットは、この中に取り付けます。

☞ ハードウェアマニュアル（58ページ）

電源スイッチ

「I」側を押すとON
「O」側を押すとOFF

電源コード差し込み口

電源コードを差し込みます。

USBインターフェイスコネクタ

USBインターフェイスケーブルを接続します。☞（31ページ）

パラレルインターフェイスコネクタ

プリンタケーブルを接続します。☞（30ページ）

拡張I/Fボード挿入口

LAN I/Fボードのいずれか1枚が装着できます。

☞ ハードウェアマニュアル（57ページ）

2. 同梱品の確認

● 梱包箱に次のものがそろっているか確認してください。もし不足しているものがあれば、お買い求めの販売店にご連絡ください。

<本体>

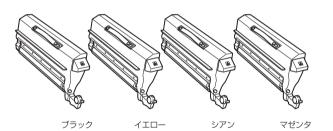
取扱説明書について

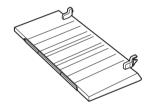
本プリンタの取扱説明書はCD-ROM内に収録されています。製本された取扱説明書は同梱されていませんのでご注意ください。

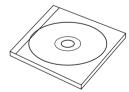
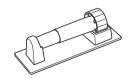
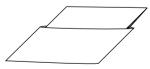
☞ ハードウェアマニュアル「付録8.マニュアルの印刷とキーワードによる検索方法」（104ページ）

取扱説明書の一部を抜粋して、クイックガイドにまとめてありますのでご活用ください。

<付属品>

ドラムセット（４本）

トナーセット（４本）

電源コード

アッパー排紙トレイ（本体に実装済み）

定着クリーナ　１本

CD-ROM

ボックスドライバ（ホルダ付き）

クイックガイド（ケース付き）

設置手順書

安全上のご注意

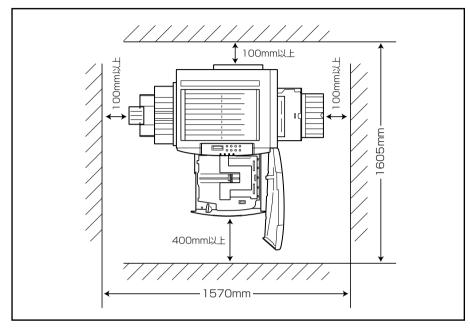
保証書請求用ハガキ

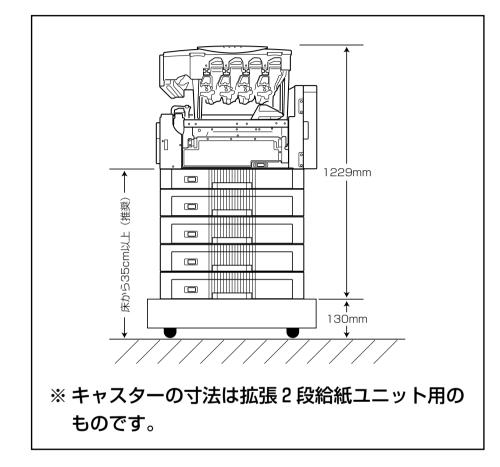
3. 設置場所の選定

3.1 設置に適した場所

次のような場所に設置してください。

- ● プリンタの重量（約 185kg）が十分耐えられる水平で安定した場所
  （標準実装状態で約 85kg、全てのオプション類を実装すると約 185kg になります。）
- ● プリンタ専用のコンセント（AC100V、50/60Hz、15A 以上、アース端子付き）が確保できる場所
  （プリンタと同じコンセントから他の機器（パソコン等）の電源を取らないでください。）
- ● 密閉されていない風通しの良い場所
- ● 直射日光が当たらない場所（3,000Lux 以下を推奨）
- ● 用紙のセットや消耗品の交換等が無理なくできるスペースが確保できる場所（次項の「設置スペース」参照）
- ● 以下の環境条件を満足する場所
  - 温度：　10～33℃（15～27℃を推奨）
  - 湿度：　20～80%（35～70%を推奨）
    （ただし結露しないこと）
  - 水平度：1.0°以下

3.2 設置スペース

- プリンタ本体を床面にじかに設置しないで、35cm以上離して設置することをおすすめします。ホコリによる故障の原因になることがあります。
- 設置台はオプションのN5専用デスク（N5-DESK）または、拡張2段給紙ユニット（N50-CPF2C），拡張1段給紙ユニット（N50-CPF1C）のご使用をおすすめします。

※ キャスターの寸法は拡張2段給紙ユニット用のものです。

- キャスター付きの台に設置するときは、必ずキャスター止めをしてください。

3.3 設置に不適当な場所

次のような場所には設置しないでください。

注 意

湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。プリンタ本体は床から35cm以上離して設置することをおすすめします。
火災・感電・故障の原因になる事があります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物（強粘性スプレー等）やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には設置しないでください。
火災の原因になる事があります。

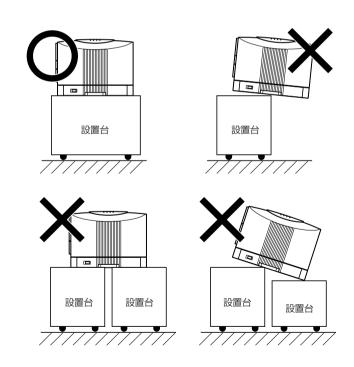
狭い部屋で長時間使用するときは、換気にご注意ください。

製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさいだまま使用すると、製品内部の温度が上昇して、火災の原因になる恐れがあります。

大切な家具などの上に設置しないでください。
長時間同じ場所に設置しておくと、製品のゴム足が付着して、大切な家具を汚す事があります。

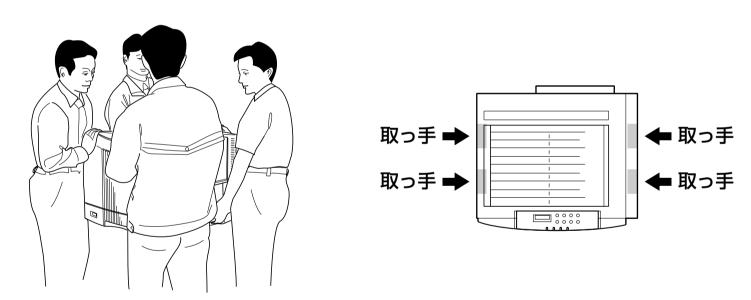
テレビやラジオの近くに設置しないでください。
受信障害の原因になる事があります。

3.4 設置台について

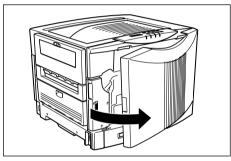
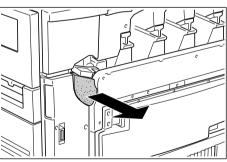
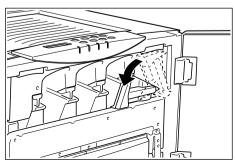
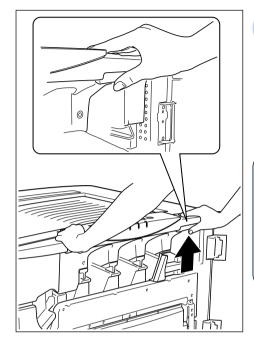
設置台はプリンタの底面より広く、丈夫で水平な台に設置してください。
プリンタのゴム足が台から外れていたり、２つ以上の台にまたがって設置したり、段差があるような場所に設置すると、プリンタの内部機構に無理な力がかかり、画像不良や、紙詰まりが発生しやすくなります。そのまま使用すると故障の原因になりますので絶対に避けてください。

3.5 プリンタを持ち運ぶ際の注意

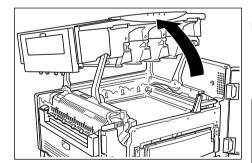
注 意

製品を持ち上げる際は、必ず 4 人以上で作業してください。
製品の重量は消耗品やオプション無しでも約72kgあります。無理な姿勢で持ち上げて腰を痛めないようご注意ください。
図のように製品の取っ手をしっかりと持って、水平に持ち上げてください。取っ手以外の場所に手をかけたり、傾けて持ち上げるとプリンタの破損および落下によるけがの恐れがあります。

プリンタをキャスター付きの台に乗せるときは、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業してください。
作業中に台が動くとプリンタの落下などによりけがの原因になる事があります。

4. 輸送用の緩衝材の取り外し

プリンタ本体には輸送用緩衝材が取り付けられています。以下の手順に従って全ての緩衝材を取り外してください。そのまま電源を入れると、故障の原因になる事があります。

4.1 転写ベルト緩衝材の取り外し

1 フロントカバーを開けます。

2 定着解除レバーの緩衝材を取り外します。

3 ロックレバーを解除（左）側に倒します。

4 シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

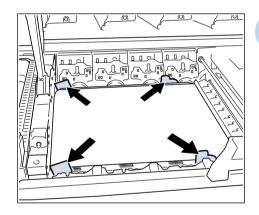
ポイント
シェル左側の取っ手には解除ボタンがありません。シェルロックの解除は右側の取っ手で行なってください。

5 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

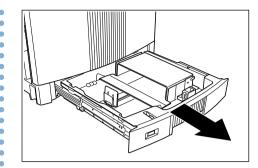
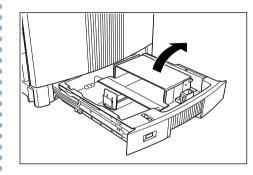
注 意

ドラムセットやトナーセットが装着されていない状態では、シェルが勢いよく開きますので、ゆっくりと開けてください。

⚠注 意

シェルは必ず最後まで開けてください。
途中で止めたり、開けたシェルに手を触れるとシェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

プリンタ内部の部品に手を触れないでください。
部品のエッジ等でけがをする恐れがあります。

6 転写ベルトの緩衝材（4個）を取り外します。

注意！ 転写ベルト（プリンタ内部の黒いベルト）の上に物を落として傷を付けないようご注意ください。印刷不良や転写ベルト切れの原因になることがあります。

7 ペーパカセットをプリンタから引き出します。

8 ペーパカセット内の緩衝材（ダンボール１個）を取り外します。

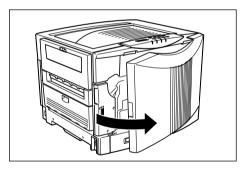
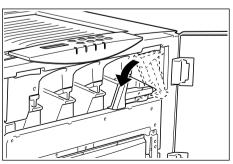
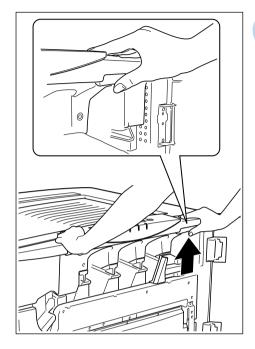
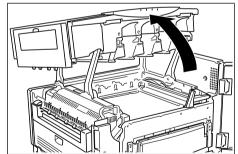
ポイント 本体と一緒に拡張ペーパフィーダや両面印刷ユニット、LANボード等のオプション品をご購入されている場合は、以降の設置を行なう前に、各オプション品に同梱されている取扱説明書を参照して、オプション品の取り付けを先に行なってください。

次にドラムセットを取り付けます

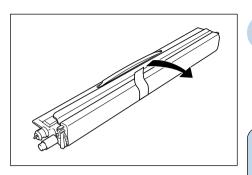
5. 消耗品の取り付け

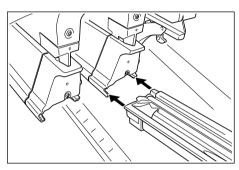
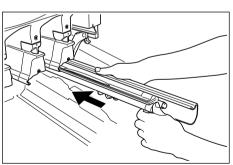
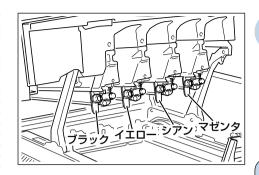
5.1 ドラムセットを取り付けます

ドラムセットは、色別にブラック、イエロー、シアン、マゼンタの 4 種類があります。ドラムセットの装着口にも装着するドラムセットの色が示してあります。以下の手順で同じ色のドラムセットを取り付けてください。

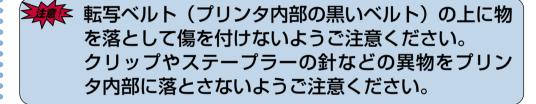
※ 以下の手順はマゼンタ用のドラムセットをプリンタに取り付ける手順ですが、その他のドラムセットも同様に取り付けてください。

1 フロントカバーを開けます。

2 ロックレバーを解除（左）側に倒します。

3 シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

4 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

⚠ 注 意

ドラムセットやトナーセットが装着されていない状態では、シェルが勢いよく開きますので、ゆっくりと開けてください。

5 ドラムセットを箱から取り出し、テープをはがします。

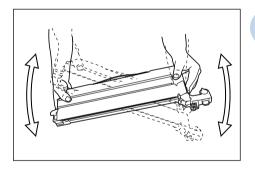
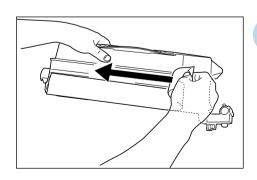
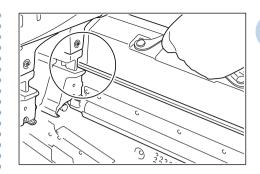
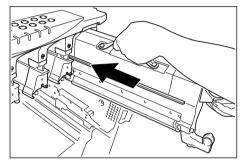
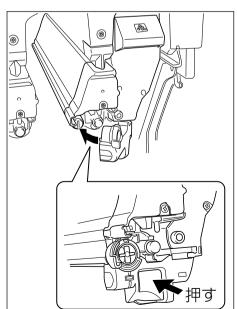
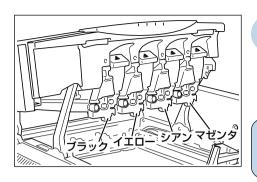
ポイント このときはまだドラムカバーを外さないでください。

6 ドラムセット挿入口のレールに、ドラムセットのツバが掛かるようにセットします。

7 ドラムカバーを手で支えながら、ドラムセットだけを押し出すように、奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

8 5から7の手順を繰り返して、4色全てのドラムセットを取り付けます。

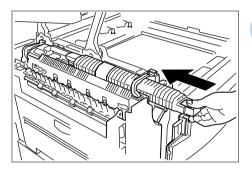
ポイント 右から順にマゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの順です。

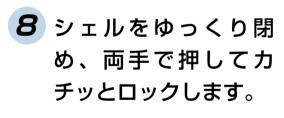
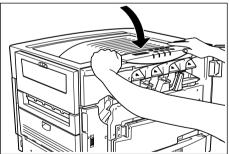
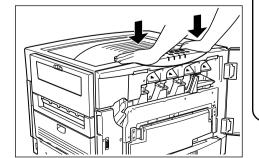
注意! 転写ベルト（プリンタ内部の黒いベルト）の上に物を落として傷を付けないようご注意ください。
クリップやステープラーの針などの異物をプリンタ内部に落とさないようご注意ください。

次にトナーセットを取り付けます

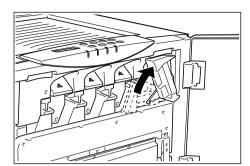
5.2 トナーセットを取り付けます

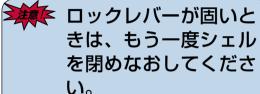
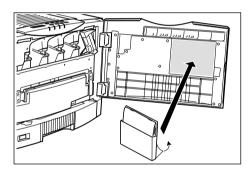
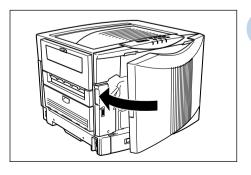
トナーセットは、色別にブラック、イエロー、シアン、マゼンタの 4 種類があります。トナーセットの装着口にも装着するトナーセットの色が示してあります。以下の手順で同じ色のトナーセットを取り付けてください。

※ 以下の手順はマゼンタ用のトナーセットをプリンタに取り付ける手順ですが、その他のトナーセットも同様に取り付けてください。

1 トナーセットを箱から取り出し、図のようによく振って、中のトナーが片寄らないようにします。

2 トナーシールテープをはがします。

3 トナーセット挿入口のレールに、トナーセットのツバが掛かるようにセットします。

4 トナーセットを奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

5 トナーセットの連結レバーを倒してドラムセットにカチッとロックします。

6 1 から 5 の手順を繰り返して、4 色全てのトナーセットを取り付けます。

ポイント 右から順にマゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの順です。

7 定着クリーナを定着ユニットの溝に沿ってスライドさせながらカチッとロックする位置に取り付けます。

8 シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

9 ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

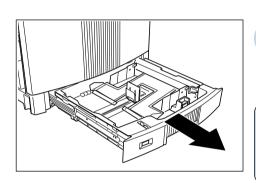
注意！ ロックレバーが固いときは、もう一度シェルを閉めなおしてください。

10 付属品のクイックガイドのケースを、裏面の台紙をはがしてフロントカバー内側の１段へこんでいる場所に貼り付けます。

11 フロントカバーを閉めます。

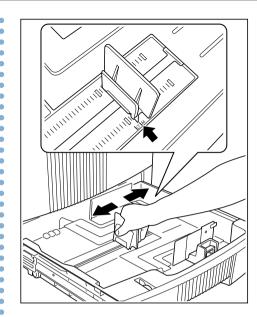
次に用紙をセットします

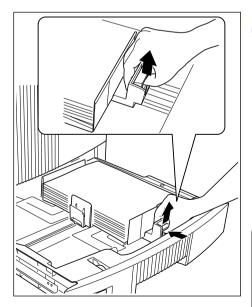
5.3 用紙をセットします

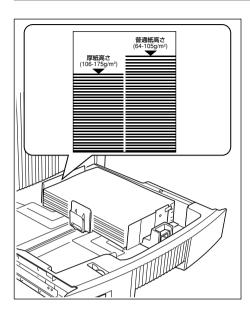
ここでは、ペーパカセットに普通紙をセットする方法を説明します。

※ 使用できる用紙の種類や取り扱いには注意が必要です。

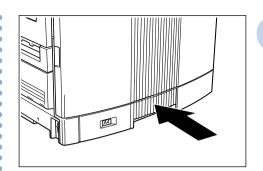
☞ ハードウェアマニュアル「付録 2. 用紙について」（94 ページ）

1 ペーパカセットをプリンタから引き出します。

ポイント 通常はペーパカセットをプリンタから取り外さないでください。

2 後ガイドの固定クリップをつまみながら、使用する用紙サイズの位置に固定します。

ポイント 固定クリップのツメがカセットの溝に固定されていることを確認してください。

3 印刷する面を下向きに用紙をそろえてセットし、横ガイドのロックレバーをつまみながら、用紙に軽く当たる位置に調整します。

ポイント 横ガイドを用紙に強く押し付けないでください。紙詰まりの原因になることがあります。

4 横ガイドのラベルの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り除きます。セットできる用紙の量はカセットの種類や用紙の厚さによって違いますのでご注意ください。

5 セットした用紙サイズに、用紙サイズダイヤルを合わせます。

> ポイント
> マルチペーパフィーダに用紙をセットする方法は、☞ハードウェアマニュアル「2.4 マルチペーパフィーダ（MPF）からの給紙」（27ページ）を参照してください。

6 ペーパカセットをプリンタの奥までゆっくり押し込みます。

次に電源コードを接続します ➡

6. 電源コードの接続と動作確認

⚠ 警告

＜電源に関する警告＞

AC100V、50/60Hz、15A以上の専用コンセント以外には接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

電源プラグやコンセント及び、プリンタ側の差し込み口（インレット）に付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、発熱や火災の原因になる事があります。

アース線を第３種接地工事をしたアース端子に接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。アース接続ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の恐れがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れて危険です。）
- 水道管（配管の途中がプラスチック等になっている事が多いため、アースの役割を果たしません。）

⚠ 警告

タコ足配線や電源コードの継ぎ足し（容量不足の延長コード）は使用しないでください。
また、パソコン等の補助コンセントには接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

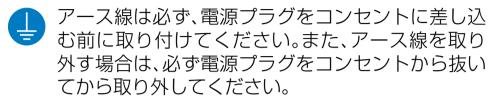
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重たいものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の恐れがあります。電源コードに傷や亀裂が付いたときは、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡し、新しい電源コードに交換してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

プリンタの電源スイッチをＯＮにしたままプラグを抜き差ししないでください。プラグが変質し、火災の原因になる事があります。

注 意

＜電源に関する注意＞

アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから取り外してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になる事があります。

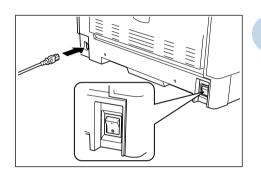
電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。発熱や火災の原因になることがあります。

本製品を移動するときや、お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や、電源コードが傷ついて火災の原因になる事があります。

連休などで、本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

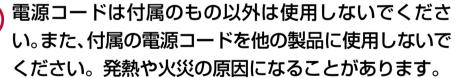
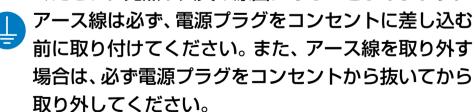
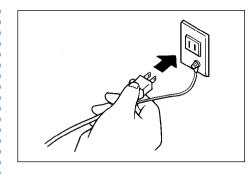
パソコンと同じコンセントを使用すると、パソコンの画面がちらついたり、誤動作によりパソコンのデータが消える事があります。プリンタの電源コードをパソコンと別の専用コンセントに差し替えてください。

6.1 電源コードを接続します

消耗品やオプションの取り付けが終了したら、電源コードを接続してプリンタの動作確認のためにステータスシートを印刷します。

1 プリンタの電源スイッチが OFF になっていることを確認してから、電源コードをプリンタに差し込みます。

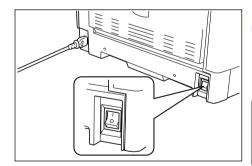
⚠ 注 意

電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。発熱や火災の原因になることがあります。

アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから取り外してください。

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 警 告

このときアース線は必ず接続してください。アース線接続しないで万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。

詳しくは ☞ 警告（24ページ）を参照してください。

3 電源スイッチを ON にします。

注意！ 電源スイッチの OFF ⟷ ON 間隔は 3 秒以上あけてください。

電源投入直後は、プリンタのリセット音（機構部を初期状態に動かす音）が出ますが故障ではありません。

電源スイッチを ON にするとプリンタは以下のように動作します。

イニシャルチェック

```
Initializing･･･
****************
```

通常表示（例）

```
インサツ　デ゛キマス
```

- プリンタのリセット音がします。
- 全てのランプが一度点灯します。
- 表示パネルが左図のように表示されます。（＊＊＊部分にチェック内容が表示されます。）
- データランプとメッセージランプが消灯し、表示パネルが通常表示になれば、印刷可能な状態です。
- 電源ランプが点滅しているときはウォームアップ中です。ウォームアップ中はデータの受信はできますが印刷できません。ウォームアップが終了すると（最大 165 秒後）電源ランプが点灯に変わり、印刷を開始します。

エラーメッセージが表示されたときは、 **ハードウェアマニュアル「6.1 表示パネルのメッセージと処置方法」（64 ページ）****を参照して正しい処置をしてください。**

次にセルフプリント（ステータスシート）の印刷をします

6.2 セルフプリント(ステータスシート)の印刷

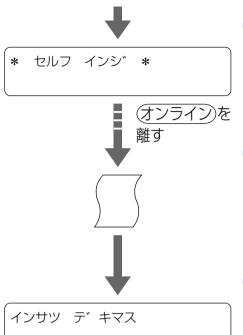
プリンタの設置が終わりました。プリンタの動作確認のためにセルフプリントを行ないます。

セルフプリントの印刷

次の手順に従ってセルフプリントを行なってください。

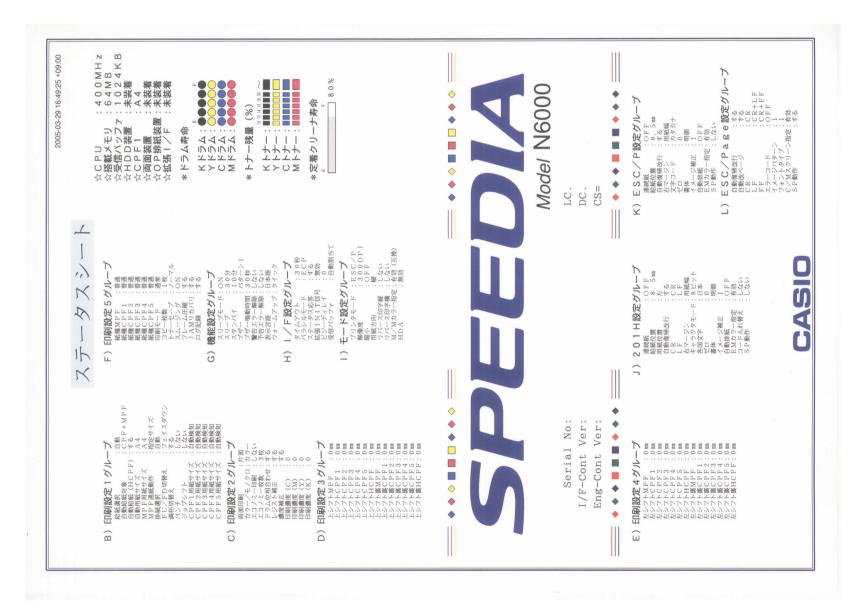
オンラインを押しながら
電源 ON

I n i t i a l i z i n g · · ·

1. A4用紙をペーパカセットに入れます。
2. オンライン ボタンを押しながら電源スイッチを ON にします。
3. I n i t i a l i z i n g… と表示されている間は オンライン ボタンを押し続けます。

4. ＊　セルフ　インジ　＊ と表示されたら オンライン ボタンから手を離します。
5. 電源ランプが点滅から点灯に変わるとセルフプリントを開始します。
6. セルフプリントが終わると通常状態に戻ります。

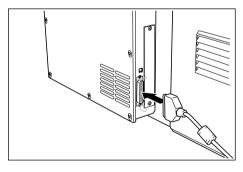
セルフプリントの結果

セルフプリントを行なうと、次のようなセルフパターンが印刷されます。

次にパソコンに接続します ➡

7. パソコンとの接続

パソコンに接続する方法はパラレルインターフェイスケーブルや、USB ケーブルで接続するローカル接続と、Ethernet インターフェイスケーブルで接続するネットワーク接続が可能です。

ポイント ネットワーク接続するためにはプリンタにLAN ボード（オプション）を取り付ける必要があります。

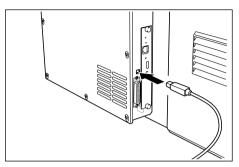
7.1 パラレル接続の場合

プリンタ背面のインターフェイスコネクタ（セントロニクス準拠36 ピン）に、プリンタケーブルのコネクタを差し込み2本のクリップで固定します。

注意！ プリンタケーブルを接続する前に、必ずパソコンとプリンタの電源を切ってください。

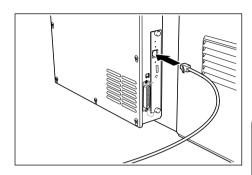
ポイント 本プリンタはECP（Extended Capabilities Port：1284準拠）をサポートしていますが、ECPで使用するときは「CP-CA554（オプション）」（DOS/V機用）のプリンタケーブルをご使用ください。また、パソコン側もECP モードをサポートしている必要があります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ポイント 各社パソコンの純正プリンタケーブルをご使用になる場合は、VCCI適合のために、必ずケーブルとコネクタがシールドされたものをご使用ください。シールドされていないものを使用すると電波障害の原因になる事があります。

次にネットワーク接続をします

7.2 USB 接続の場合

プリンタ背面のＵＳＢ インターフェイスコネクタにUSB ケーブルを差し込みます。

USBケーブルはUSB1.1またはUSB2.0対応のツイストペア、シールドタイプのケーブルをご使用ください。

7.3 ネットワーク接続の場合

プリンタ背面のLAN ボード（オプション）に Ethernet ケーブルを差し込みます。

Ethernetケーブルは、市販のシールドツイストペアケーブル（カテゴリー５ＳＴＰ を推奨）のストレートケーブルをご使用ください。

LAN ボード（オプション）の取り付け方法はハードウェアマニュアル「オプションについて」（52 ページ）を参照してください。

LAN ボードにはあらかじめ IP アドレス等の設定をしておく必要があります。詳しくはLANボードに同梱のマニュアル（CD-ROM 内 PDF マニュアル）を参照してください。

一部のスイッチング HUB、パラレル－LAN 変換アダプタ、プリンタ切り替え機をプリンタに接続すると正しくデータ転送ができない場合があります。正しくデータ転送できないときは、これらの中継機器を外して、直接接続する方法をお試しください。
（パソコンとプリンタをLANケーブルで直接接続するためには、クロス配線の LAN ケーブルが必要です。）

次にパソコンのセットアップをします

8. パソコンのセットアップ

プリンタに同梱のCD-ROMには、プリンタをご利用いただくために必要なプリンタドライバなどの各種ソフトウェアおよび取扱説明書が収められています。
プリンタをご利用いただくためには、少なくともプリンタドライバのインストールが必要です。☞ 34ページ
CD-ROMをパソコンにセットし、以下の手順および画面の指示に従ってプリンタドライバと、ご希望のソフトウェアをセットアップしてください。

■ソフトウェアの導入

CD-ROMを、ご導入いただくパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。
CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、スタートアップメニュー（図８－１）が表示されます。（しばらく待っても、自動的にスタートアップメニューが表示されない場合には、エクスプローラなどからCDドライブを表示し、startup.exeを実行してください。）

USBケーブルを使ってプリンタをご利用いただく場合のご注意

- USBを使用できるOS環境は、Windows Me / Windows 2000 / Windows XP / Windows Server 2003がプレインストールされたパソコンまたはクリーンインストールされたパソコンに限ります。
  その他の環境や、アップグレードしたOSでの動作は保証されません。
- OSの起動中や、プラグ・アンド・プレイの検索・設定中、印刷中にUSBのプラグの抜き差しを行なわないでください。
- USBプラグの抜き差しは、十分な間隔（5秒程度）を置いて行なってください。
- USBハブを経由してプリンタとパソコンを接続したときに、正しく動作しない場合があります。
  このような場合には、パソコンとプリンタを直接接続するようにしてください。
- USBケーブルを接続しても、全くパソコンが反応しない場合には、パソコン、プリンタの順に電源を入れなおし、USBケーブルをつなぎ直してみてください。
- USBデバイスを複数台接続した場合、USBの仕様上印刷速度が低下する場合があります。

■スタートアップメニュー

図８－１

スタートアップメニューは､CD-ROMに収録されている各ソフトウェアの導入をご案内します。
ご希望の項目のボタンをクリックしてください。

主なボタンの説明を以下に示します。

● セットアップ

プリンタ用ソフトウェアをセットアップします。☞ 34ページ

● 取扱説明書

取扱説明書の表示・セットアップを行ないます。☞ 35ページ

● CD 参照

CD のフォルダを表示します。

● PRiWAVE 体験版

CASIO PRiWAVE 体験版を収録しています。

■セットアップ

図８－２

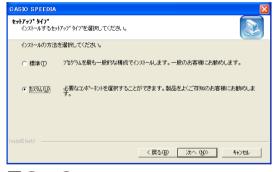



図８－３

図８－４

セットアップボタンをクリックすると、セットアップをご案内するウィザードが実行されます。ウィザードの画面メッセージにしたがって、セットアップに必要な項目を各画面で設定して、「次へ」ボタンで進行していきます。セットアップに必要な項目の設定が完了すると、ファイルのインストールが開始されます。

☞ セットアップウィザード（36 ページ）

● プリンタドライバ

Windows 用プリンタドライバです。Windows で印刷を行なうために必要です。

標準構成でインストールされます。

● Copy Guard system files

プリンタドライバにコピーガード印刷機能を追加します。

標準構成でインストールされます。

● SPEEDIA マネージャ

プリンタ監視ツールです。プリンタの状態（用紙補給／紙詰まり等）を画面に表示することができます。

標準構成でインストールされます。

● REPORT HOLDER エディタ

印刷文書を一旦保留して、ページの並べ替えなどを行なうための機能を付加します。

標準構成でインストールされます。

● ユーティリティ ー ハードディスクツール

プリンタに内蔵されたハードディスクのファイルを削除するソフトウェアです。
標準構成ではインストールされません。

■取扱説明書

図８－５

図８－６

図８－７

取扱説明書ボタンをクリックすると、選択画面（図８－５）が表示されます。

● 取扱説明書の参照

CD-ROM に収録されている取扱説明書を参照するためには、「各種ガイドの参照」または「各種マニュアルの参照」をクリックしてください。
さらに取扱説明書のトピックが表示されます（図８－６、図８－７）ので、ご覧になりたいトピックをクリックしてください。
（取扱説明書をご覧いただくためには、Adobe Reader などの PDF 文書を表示可能なビューアがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、Adobe Readerをインストールするかどうかを確認するメッセージが表示されますので、インストールしてもよろしければ、「はい」を選択してください。）

● 取扱説明書のインストール

取扱説明書をハードディスクにコピーしてからご参照いただくためには、「取扱説明書のインストール」をクリックしてください。
取扱説明書をインストールするためのウィザードが実行されます。
画面のガイドに従って、インストールを行なってください。

● Acrobat Reader のインストール

Adobe Systems 社の Adobe Reader をパソコンにインストールします。
CD-ROMに収録されている取扱説明書の文書フォーマットに対応したビューアです。

■セットアップウィザード

セットアップ完了時にパソコンを再起動する必要があることがあります。必ず実行中のアプリケーションを終了してからセットアップを開始してください。

図８－８

● セットアップウィザードの開始

プリンタウィザードが表示されたら、「次へ」ボタンをクリックして、次の画面に進みます。

図８－９

● セットアップタイプ

セットアップの方法を選択します。

通常は、「標準」を選択してください。標準的なソフトウェアの構成でセットアップを実行します。

図８－10

「カスタム」を選択して「次へ」ボタンをクリックすると、セットアップするソフトウェアを選択するコンポーネントの選択画面（図８－10）が表示されます。

この画面では、インストールしたいソフトウェアにチェックをして、「次へ」ボタンをクリックします。

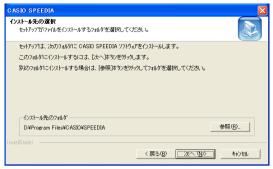
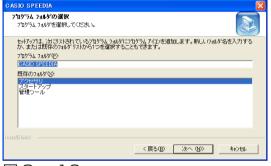



図８－１１

● インストール先フォルダの指定

この画面では、ソフトウェアのファイルをコピーするフォルダ名を指定します。
（ここで指定したフォルダ以外にも、必要なファイルがシステムのフォルダなどにコピーされます。）
この画面は、選択したソフトウェアにより表示されないことがあります。

図８－１２

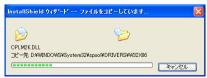
● プログラムフォルダの選択

スタートメニューのプログラムフォルダに、ソフトウェアのアイコンを登録します。
登録するフォルダ名を指定してください。通常は、「CASIO SPEEDIA」のまま変更せずに「次へ」ボタンをクリックしてください。
この画面は、選択したソフトウェアにより表示されないことがあります。

図８－１３

● ファイルコピーの開始

ファイルのコピーを開始します。設定した内容を確認して「次へ」ボタンをクリックしてください。

図８－14

● プリンタの選択

プリンタドライバをセットアップします。

ご利用いただくプリンタ機種を選択し、オプションを設定して「次へ」ボタンをクリックしてください。

この画面はセットアップタイプ「標準」、または「カスタム」でプリンタドライバを選択した場合に表示されます。

図８－15

● セットアップ方法の選択

使用するプリンタとの接続の仕方によって、セットアップ方法を選択し「次へ」をクリックしてください。

この画面はセットアップタイプ「標準」、または「カスタム」でプリンタドライバを選択した場合に表示されます。

それぞれのセットアップ方法を選択した場合の操作は下記ページをご参照ください。

「ネットワークプリンタのセットアップ」☞ 41ページ
「USB接続セットアップ」☞ 43ページ
「LPT接続セットアップ」☞ 52ページ
「マニュアルセットアップ」☞ 53ページ

図８－16

● ファイルのコピー

各セットアップ方法で設定を行ない、その内容に基づいてファイルのコピーとソフトウェアの登録が実行されます。

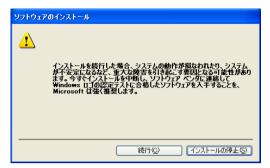



図８－17

図８－18

図８－19

コピーの実行前後に、いくつか確認のためのダイアログが表示されることがあります。

ファイルのインストール前にWindows XP/Server 2003では図８－17、図８－18、Windows 2000では図８－19のダイアログボックスが表示されることがあります（プリンタドライバをセットアップしない場合には表示されません)。
「続行」ボタン（Windows 2000では「はい」ボタン）をクリックして、セットアップを続行してください。

この他にも、セットアップするソフトウェア固有の情報を表示するダイアログが表示されることがあります。
各ダイアログのメッセージにしたがって、セットアップを進めてください。

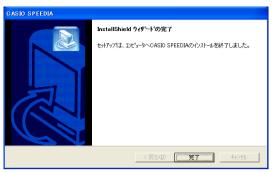



図８－20

図８－21

● セットアップの完了

以上でソフトウェアのセットアップは完了です。「完了」ボタンをクリックして、セットアップを終了してください。
図８－21「コンピュータを再起動する必要があります。」のメッセージが表示された場合には、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」ボタンをクリックして、パソコンを再起動するようにしてください。

以上でプリンタのセットアップは完了です。
プリンタをご使用になる前にハードウェアマニュアルもよく読んでご活用ください。

■プリンタドライバ「ネットワークプリンタのセットアップ」

図８－22

● セットアップ方法の選択

ネットワークに接続されたプリンタをご使用する場合は「ネットワークプリンタのセットアップ」を選択して「次へ」をクリックしてください。
Windows 98/Windows Me ではネットワーク上のプリンタを検索してセットアップを行なえません。「マニュアルセットアップ」でCP-LPR の機能を利用してネットワーク上のプリンタと接続してください。

図８－23

● プリンタ検索

プリンタ検索画面（図８－23）が表示され、近くのネットワークプリンタ（同一サブネット内のLANにつながっているプリンタ）を検索します。インストールするプリンタと一致するものが見つかるとプリンタリストに表示されます。同じ機種のプリンタが複数ある場合はそれぞれのIPアドレスを確認し、使用するプリンタを選択してください。
見つからない場合または、サブネット外のプリンタを使用する場合は「ホスト名またはIPアドレスを指定」を選択し、エディトボックスにホスト名またはIPアドレスを入力して「検索」ボタンをクリックしてください。

図８－24

プリンタリストから使用するプリンタを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。選択したプリンタへ出力するポートが設定されます。

図8－25

● プリンタ セットアップ

「プリンタの名前」を入力します。セットアップを行なうプリンタに関する設定を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

図8－26

● ファイル コピーの開始

「次へ」ボタンをクリックするとプリンタドライバに必要なファイルのコピーを開始します。

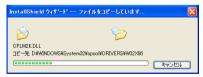



図8－27

● ファイルのコピー

ここまでで設定した内容に基づいて、ファイルのコピーとソフトウェアの登録が実行されます。

いくつか確認のためのダイアログが表示されますが、各ダイアログのメッセージにしたがって、セットアップを完了してください。

■プリンタドライバ「USB 接続セットアップ」

図８－28

● セットアップ方法の選択

パソコンとプリンタをUSBで接続する場合は、「USB接続セットアップ」を選択します。この後指示が表示されるまで、USBケーブルは接続せずに、プリンタの電源をオフにしておいてください。
準備ができましたら「次へ」をクリックしてください。

図８－29

すでにプリンタがUSBポート出力でインストールされている場合、図８－29の確認メッセージが表示されます。インストール済みのプリンタを更新のみ行なう場合は「はい」をクリックしてください。「既にインストールされているプリンタドライバを更新する」にチェックされて図８－30のプリンタセットアップダイアログが表示されます。「次へ」をクリックしてください。ファイルコピーの開始ダイアログが表示されますので「次へ」をクリックしてプリンタドライバの更新を行なってください。

２台めのプリンタをUSB接続する場合は図８－29確認メッセージの「いいえ」をクリックして、USB接続セットアップをすすめてください。

図８－30

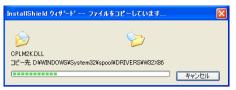
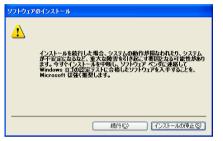



図８－31

● **ファイルのコピー**

ファイルのコピーが実行されます。
Windows XP/Server 2003では図８－32、Windows 2000では図８－33のダイアログボックスが表示されることがあります。

図８－32

「続行」ボタン（Windows 2000では「はい」ボタン）をクリックして、セットアップを続行してください。
Windows 2000/XP/Server 2003ではファイルのコピーが表示されずに次のUSBプリンタ接続の検出が表示されることがあります。

図８－33

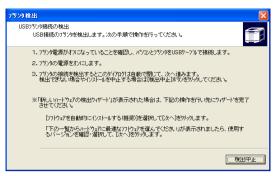



図８－34

● USB プリンタ接続の検出

USB プリンタ接続の検出（図８－34）が表示されましたら、次の操作を行なってください。

1. プリンタの電源がオフになっていることを確認し、パソコンとプリンタをUSBケーブルで接続します。
2. プリンタの電源をオンにします。

プリンタの電源投入後、しばらくすると接続が確認されダイアログは自動で閉じて次の処理に進みます。

プリンタをオンにして、しばらくたっても（パソコンの処理速度によりますが概ね約５分）表示がそのままとなっている場合は、プリンタの電源をオフにしてから「検出中止」ボタンをクリックし、セットアップを中止してください。
次の注意をご確認いただき、再度セットアップを実行してください。
☞ USB ケーブルを使ってプリンタをご利用いただく場合の注意（32 ページ）
再度セットアップを行なっても同様の場合は、パソコンを再起動してからセットアップを行なってください。

図８－35

プリンタの電源を投入後にファイルのコピーが実施される場合があります。図８－35 が表示されましたら「参照」ボタンをクリックし、Windows ME の場合は本 CD-ROM の ¥Drivers¥Win9x を指定して「OK 」をクリックします。
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合はインストール先フォルダ（☞図８－11 37 ページ）の下位にある ¥Drivers¥N6000¥W2000XP を指定して「OK 」をクリックします。

図８－36

Windows 2000/XP/Server 2003 ではプリンタの電源をオンにすると「新しいハードウェアの検出ウィザード」（図８－36）が表示されることがあります。

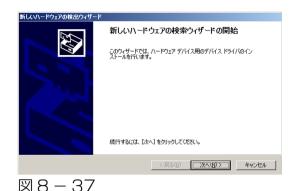



図８－37

● Widnows 2000 で「新しいハードウェア検出ウィザード」が表示された場合

次の操作を行なってください。

図８－37「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されたら、「次へ」をクリックします。

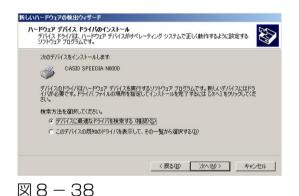



図８－38

図８－38「ハードウェア デバイス ドライバのインストール」が表示されたら「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して「次へ」をクリックします。

図８－39

図８－39「ドライバ　ファイルの特定」が表示されたら、「場所を指定」をチェックし「次へ」をクリックします。

図８－40

図８－40が表示されましたら、参照ボタンをクリックしインストール先フォルダ（☞図８－１１ 37ページ）の下位にある¥Drivers¥N6000¥W2000XP¥CP60NT5.INFを指定して「OK」をクリックします。

図８－41

図８－41「ドライバ　ファイルの検索」が表示されたら、「次へ」をクリックします。

図８－42

図８－42のダイアログが表示される場合がありますので、「はい」をクリックします。

図８－43

図８－43「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら「完了」をクリックしてください。

プリンタがＵＳＢケーブルで接続されたことを確認すると、セットアップ処理を継続します。

このほかにも、セットアップするソフトウェア固有の情報を表示するダイアログが表示されることがあります。
各ダイアログのメッセージにしたがって、セットアップを完了してください。

図８－44

● Windows XP/Server 2003で「新しいハードウェア検出ウィザード」が表示された場合次の操作を行なってください。

Windows XP ServicePack2 または Server 2003 ServicePack1 の場合、図８－44が表示されることがあります。「いいえ、今回は接続しません。」を選び「次へ」をクリックします。

図８－45

図８－45「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されたら「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選び「次へ」をクリックします。

図８－46

図８－46「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください。」が表示されたらバージョンを確認し、最新のプリンタドライバを選択して「次へ」をクリックします。

場所にWin9xを含むもの（例　D:¥Drivers¥Win9x¥cp60w9m.inf）はWindows 98 / ME用のプリンタドライバですので選択しないでください。

図８－47

図８－47 が表示される場合がありますので、「はい」をクリックします。

図８－48

図８－48「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら「完了」をクリックしてください。

プリンタがＵＳＢケーブルで接続されたことを確認すると、セットアップ処理を継続します。

このほかにも、セットアップするソフトウェア固有の情報を表示するダイアログが表示されることがあります。
各ダイアログのメッセージにしたがって、セットアップを完了してください。

■プリンタドライバ 「LPT 接続セットアップ」

図8－49

● セットアップ方法の選択

パソコンのLPT（パラレルポート）とプリンタをプリンタケーブルで接続する場合は、「LPT 接続セットアップ」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

図8－50

● ファイルのコピー

ファイルのコピーとソフトウェアの登録が実行されます。

図8－51

図8－52

ファイルのインストール前にWindows XP/Server 2003では図8－51、Windows 2000 では図８－52 のダイアログボックスが表示されることがあります。
「続行」ボタン（Windows 2000 では「はい」ボタン）をクリックして、セットアップを続行してください。

この他にも、セットアップするソフトウェア固有の情報を表示するダイアログが表示されることがあります。
各ダイアログのメッセージにしたがって、セットアップを完了してください。

■プリンタドライバ 「マニュアルセットアップ」

図８－53

● セットアップ方法の選択

プリンタフォルダに表示されるプリンタ名やポートをマニュアルで設定する場合は「マニュアルセットアップ」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

図８－54

● プリンタ セットアップ

プリンタフォルダに表示されるプリンタの名前を入力します。
ポートなどその他設定を変更する場合は「変更」ボタンをクリックします。

図８－55

● プリンタの設定

ポート、通常使うプリンタに設定、双方向通信を使用、テスト印刷の実施をコンボボックスで設定します。使用するポートがコンボボックスに表示されない場合は「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。
設定が終わりましたら「次へ」をクリックするとプリンタ セットアップ画面に戻ります。

図８－56

● プリンタ セットアップ

プロパティで表示されている各設定を確認し、「次へ」をクリックしてください。

図８－57

● ファイル コピーの開始

「次へ」ボタンをクリックしてプリンタドライバに必要なファイルのコピーを開始します。

図８－58

● ファイルのコピー

ここまでで設定した内容に基づいて、ファイルのコピーとソフトウェアの登録が実行されます。

この他にも、セットアップするソフトウェア固有の情報を表示するダイアログが表示されることがあります。
各ダイアログのメッセージにしたがって、セットアップを完了してください。

カシオ計算機株式会社
システムソリューション営業統轄部　ページプリンタ企画室

〒151-8543　東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

東京地区	電話 03-5334-4550
西日本地区	電話 06-6243-2100
中部地区	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道地区	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北地区	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国地区	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国地区	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州地区	電話 092-475-3939
テクニカル・インフォメーション・センター	電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

SPEEDIA N6000

セットアップガイド

2005年5月31日　第1版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

低電力モード消費電力　24W
リサイクル設計
トナー容器引取ルート確立

エコマーク認定番号
第03122009号